

NEWS LETTER

釜石・遠野地協「2026春季生活闘争 地域討論集会」を開催

2026春季生活闘争方針を意思統一

三浦一泰釜石市議の活動報告も実施!!

釜石・遠野地協は2月24日(火)18時30分から釜石市「PIT多目的集会室」で「2026春季生活闘争地域討論集会」を開催しました。集会には約40名が参加、「2026春季生活闘争方針」「推薦議員団の活動報告」「2026政策制度要請の結果」などを確認、闘う決意を固めました。

集会の冒頭、今野徹議長があいさつ「賃上げを社会全体のものにするために、社会全体を豊かにすることが春季生活闘争の役割であることと厳冬期に実施された衆議院選

挙の結果を踏まえた、諦めない姿勢、政策制度実現のための方向付けを再認識しながら釜石・遠野地協は連合岩手とともに闘いを展開する」と決意を述べました。

の村上オルガナイザーから2月6日開催の「第49回地方委員会」で確認された「連合岩手2026春季生活闘争方針」について説明があり、今年度の当該地域の闘争がスタートしました。

その後、推薦議員から活動報告をいただき、三浦一泰釜石市議からは釜石を元気にする取り組みや組合の意義、働き方を改革する必要性、「人口減少・少子高齢化」に対する政策の実効性についての報告がありました。

高教組釜石支部から報告をいただきました。日鉄労組の畠山さんからは、春闘の要求状況や組織強化のあり方について報告がありました。岩教組の小國博文さんからは、社会問題化する教職員の過重労働について、担任手

次に釜石・遠野地協の菊池事務局長から「昨年の闘争方針に基づく2025政策制度要請」に係る釜石市・遠野市・大槌町との意見交換についての状況報告を行いました。引き続き連合岩手の村上オルガナイザーから

構成組織からの課題共有として日鉄釜石労組、岩教組南リアス支部、JP労組岩手南リアス支部、

支部の山田英之さんからは、遠距離通勤の状況や教職員数不足が高校現場にもあり、少子化に伴う高校再編計画は、地域の教育を考える大きな課題との発言がありました。



釜石・遠野地域協議会今野徹議長から挨拶



村上貴亮連合岩手オルガナイザーから挨拶



三浦一泰市議は「釜石を元気に！」と訴え

閉会の言葉/倉本幹事



閉会の言葉/母良田副議長



役員一同で、ガンパロウ

連合岩手2026春季生活闘争方針

【賃金要求20,400円以上の考え方】

- ① 2025年度連合岩手賃金実態調査での平均賃金の4.8%相当分の金額を算出
 $275,664 \text{円} \times 4.8\% = 13,231.88 \text{円}$
 \approx **13,300円以上**
- ② 賃金カーブ維持分は、2025年度連合岩手賃金実態調査による全産業男女計の平均賃金の40歳賃金と20歳賃金の差額を勤続年数20年で割り、1歳あたりの上昇額の平均を算出
 $287,700 \text{円} (40歳平均値) - 202,300 \text{円} (20歳平均値) = 85,400 \text{円}$
 $85,400 \text{円} \div 20 \text{年} (勤続年数) = 4,270 \text{円}$
- ③ 格差是正分は、連合加盟組合全体平均賃金と連合岩手全産業男女計との差があり全国との格差の解消を図ることから1%を設定して金額を算出
 $(275,664 \text{円}) \times 1\% = 2,756.64 \text{円} \approx$ **2,800円**

要求目安: 20,400円以上 (① 13,300円 + ② 4,270円 + ③ 2,800円)

●雇用形態間格差是正取り組み

時給は、「賃金引上げ要求めやす額相当分の7.4%」と賃上げベース1,127円の基づき、時間給要求めやすを
 $1,127 \text{円} \times 7.4\% = 83.39 =$ **84円**

要求目安: 84円以上

尚、当日の集会では、釜石・遠野地域協議会の菊池事務局長から今春季闘における連合岩手の方針や今後の予定の説明があり、日銀「生活意識に関するアンケート調査」及び厚生労働省「賃上げ等の実態に関する調査」に基づくと労働組合

倉本健幹事の閉会のこ
 とばの後、今野議長の団結
 ガンパロウで、『みんな
 賃上げ、豊かな社会の構
 築、組織拡大・組織強化、
 選挙闘争の勝利』をスロ
 ガンとする「2026春季
 生活闘争」を闘う意思統一
 を行い、集会を閉じまし
 た。



今だからこそ団結、ガンパロウ!

釜石・遠野地協は、2月18日に推薦議員である小松正真・遠野市議を囲んで「小松正真市議との意見交換・報告会」を遠野教育児童会館にて平和環境遠野地区労センタ

と共催で開催しました。「意見交換・報告会」には11名が参加。小松市議からは昨年の6月議会以降の活動報告をいただき、参加単組からは職場実態や課題などの報告があり、また雇用形態間格差是正は有期・短

**遠野市政への意見反映を2/18
 小松正真市議との意見交換を実施**



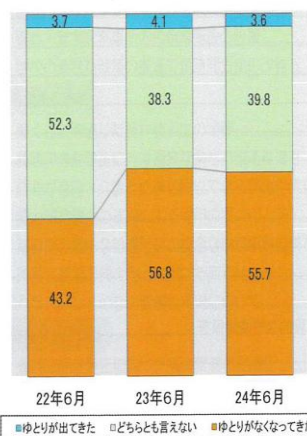
小松市議による議会報告

賃金アップが常識の社会に!!

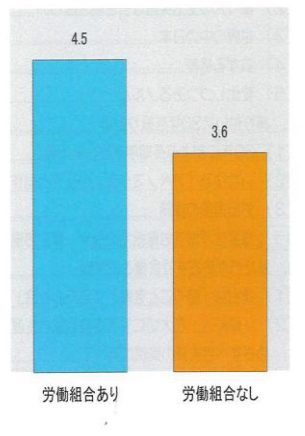
2026 連合白書より春闘のポイントより

働く人の生活実感は引き続き厳しい 組合有無による賃金改定率の差

[1年前と比べた暮らし向きの変化]



[2024年の平均賃金の改定率(%)]



■出所：日銀「生活意識に関するアンケート調査」(第90回：2022年6月、第94回：2023年6月、第98回：2024年6月) ■出所：厚生労働省「賃金引上げ等の実態に関する調査」(2024年)

の無が賃金交渉に大きく影響を及ぼし、波及効果が大きいことや、春闘を通しての組織強化・拡大の重要性が示されまし



小松議員にたくさんの質疑が...

